

2011 年度那須自然史基金募集要項

2011 年 1 月 23 日

会員各位

特定非営利活動法人西日本自然史系博物館
ネットワーク事務局

那須自然史基金の募集について

那須自然史基金は、「故那須孝悌氏の意志を継ぎ、社会の中で自然史系博物館の機能を積極的に発揮し、博物館に関係する様々な活動を支援するために、必要な援助を行うこと」を目的とした基金です。下記の要項に基づき、別紙様式により事務局へ申し込んで下さい。

記

【2011 年度那須自然史基金募集要項】

■応募資格

西日本自然史系博物館ネットワーク会員とします。西日本自然史系博物館ネットワークへの入会についてはホームページ <http://www.naturemuseum.net> を参照して下さい。

■応募区分

応募区分は調査研究支援と新規事業支援の 2 つがあります。

1. 調査研究支援：自然史系博物館の活動に関わる、特定の館を超えた取り組みを支援します。申請者は複数の所属にまたがる 2 名以上のメンバーリストとともに事業計画を策定して応募してください。事業期間は最大 2 年間とし、支援額は 10 万円を上限とします。審査には計画の妥当性ととも、当 NPO 及び本基金の趣旨に照らした妥当性によって判断をします。なお事業終了後の成果の公開を義務付けます。

2. 新規事業支援：出版・イベント・web サービスなど、博物館関連の新規事業に必要な初期資金を支援します。単独の館に関係する事業でも申請可能です。有償で行う事業に関しても支援対象としています。申請者は事業計画と資金計画を添えて応募してください。事業の有効性と資金面の支援の必要性により採否を判断します。事業期間は最大 2 年間とし、支援額は最大 30 万円とします。

■申請

別紙様式に必要事項を記入し、事務局（〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園 1-23 大阪市立自然史博物館内 西日本自然史系博物館ネットワーク事務局）まで郵送して下さい。申し込み締め切りは2011年2月末日（当日消印有効）とします。

■事業スケジュール

事業の採択は理事会が指名する審査委員会が選定し、3月末日までに申請者に通知するとともに公開し、速やかに入金します。事業期間は2011年4月1日を開始日とし、最大2年間とします。

採択された事業の責任者は、1年ごとに会計と事業進捗の報告を行い、事業終了時には、30日以内に領収書、成果物など必要書類を保存し事務局に提出する義務を負います。事務局は事業結果の概要を会員に示し、また求めに応じて必要書類を開示します。

■成果の公開

本基金の成果物には、謝辞または奥付などに西日本自然史系博物館ネットワークより那須自然史基金の支援を受けたことを明記してください。

■計画変更

諸処の事情により調査計画を中止・縮小せざるを得ない場合にはすみやかに事務局に連絡し、最大限の事業効果を得ることを目指して協議してください。

別紙様式はこちら

word

<http://www.naturemuseum.net/blog/pdf/nasumentry.doc>

過去の採択状況

2010年 採用1件（応募1件）

新規事業：巡回展「タンポポ」の企画・運営

代表：鈴木武氏（兵庫県立人と自然の博物館） 300（千円以下同様）

2009年 採用2件（応募2件）

新規事業：第4回出前自然史博物館-1日だけの自然史博物館 in 広島

代表：平山琢朗（「自然の博物館」をつくる会） 100

調査研究：市民参加による西日本でのタンポポ分布調査

代表：鈴木武氏（兵庫県立人と自然の博物館） 100

2008年 採用なし

2007年 採用1件（応募1件）

新規事業：巡回展『バッタ・コオロギ・キリギリス』の企画・運営

代表：日比伸子氏（橿原市昆虫館） 300

2006年 採用3件（応募4件）

調査研究：みんなで調べる箕面の昆虫 2007

ートラップを用いた昆虫相調査とリーフレットの制作～

代表：久留飛克明氏（箕面公園昆虫館） 18

調査研究：紀伊半島レッドデータブックに関する調査研究とシンポジウムの開催

代表：日比伸子氏（橿原市昆虫館） 100

新規事業「琵琶湖博物館ディスカバリー・ルーム～日本初のこころみから10年～」

の出版準備

代表：亀田佳代子氏（琵琶湖博物館） 49